



教育の現場から。

第49回

「博報賞」

推薦受付開始

推薦受付期間：2018年4月2日(月)～6月29日(金)

●以下の5部門において、すぐれた実践・指導・研究を顕彰いたします。

国語・日本語教育

特別支援教育

日本文化理解教育

国際文化理解教育

教育活性化

博報財団
HAKUHO FOUNDATION

第49回「博報賞」推薦受付開始

推薦受付期間：2018年4月2日(月)～6月29日(金) ※当財団必着

博報賞は児童・生徒に対し、日頃、教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の
顕彰を通して、児童教育の現場を活性化させることを目的としています。

スタートから40年以上の歴史を持ち、対象部門も拡大、すぐれた教育実践の輪を広げています。

【対象部門と各部門の活動範囲】

●国語・日本語教育部門

- 思考力、判断力、表現力、想像力、理解力、伝達力、課題発見・解決力などの育成を目指す教育
- あらゆる学びの場における「ことば教育」

●特別支援教育部門

- インクルーシブ教育の理念に則った教育的支援活動
(視覚・聴覚・言語に関する障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、知的障害、発達障害、情緒障害など)

●日本文化理解教育部門

- 地域に根付いた伝統文化、行事、芸能、生活文化などに関する学習・継承を通して、文化・地域への誇りや大切にすることを育む教育

●国際文化理解教育部門

- 異文化を理解・受容し、多文化共生の意識の浸透と地球的視野を持った主体性のある子どもの育成を目指す教育
- 外国につながる子どもや家庭への支援的活動

●教育活性化部門

- 上記以外の分野で、新しい教育テーマ等の開発。
独創的な学校・授業改革
- 多様な主体による協働や、学校以外の学びの場における、子どもの豊かな人間性、社会性、道徳性、生きていく力などを育成する活動

【候補者資格】

日本国内において、
国内の小・中学生を中心とした児童・生徒を対象に、
5部門に関連する教育活動を実践している団体・個人
※応募に際しては、推薦資格を有する
第三者による推薦が必要です。

【賞の内容】

博報賞

5部門の20件前後
正賞 賞状
副賞 100万円

◆文部科学大臣賞

「博報賞」5部門の受賞者の中から、
特に奨励すべき取り組みがある場合に贈られます。

博報教育特別賞

「博報賞」5部門とは別に、
広く教育的見地から功績著しい
候補がある場合に贈呈します。

【審査委員】(五十音順)*は審査委員長

押谷 由夫 武庫川女子大学大学院 教授*
佐久間亜紀 慶應義塾大学 教授
滝川 国芳 東洋大学 教授
田村 学 國學院大學 教授
柘植 雅義 筑波大学 教授
成田 信子 國學院大學 教授
森山 卓郎 早稲田大学 教授
山元 隆春 広島大学 教授
結城 恵 群馬大学 教授
吉谷 武志 東京学芸大学 教授

1970年開始以来、昨年までの顕彰件数は
団体・個人合わせて1,193件。

博報教育フォーラム

すぐれた教育実践が、教育実践現場に拡大・普及することを企図しています。
教育の新たな潮流となりうるテーマとすぐれた教育実践事例を選び、参加者が共に考えを深めて意見交換できる場を提供します。

詳細については博報財団ホームページをご覧ください。

<http://www.hakuhofoundation.or.jp/>

博報財団

検索